

# 学校だより たぐち

佐久市立田口小学校 平成28年 9月 7号

夏休みも終わり、2学期が始まり半月間が過ぎました。8月19日の始業式の日には、7名の欠席がありました。理由は様々ですが、一人でも少ないことを願いながら迎えました。子供たちが主役の学校は、「休む子の少ない学校」と同義でもあると考えます。「行きたくなる学校」「行くと楽しい学校」「行くといろいろな事を学べる学校」になるように全職員、心を一つにして日々を過ごして参ります。2学期もよろしくご支援をお願いします。

## 奥殿小学校との交流特集号



六年生が準備し、今も体育館に残る学校での交流会を開いた体育館の飾りです。6年生にとっては、とても忙しく、あたふたとした休み明けの日々だったのではないかと思います。有り難うございました。しかし、その忙しさに見合う、いいえそれ以上の何ものにも変え難い貴重な経験・体験人との繋がりの素晴らしさを心より感得できた26日・27日ではなかったでしょうか。

まだ片付けられていないこの飾りを見ながら、あっという間に過ぎていった二日間をまた、それまでの準備会のこと、

当日の様々な配慮のことが思い出されます。何よりも、両校の子供たちの笑顔が心にわき上がるように浮かびます。奥殿（おくとの）小学校との交流に関わっていただいた全ての皆様に、心よりお礼を申し上げます。有り難うございました。

## 26日の様子から

奥殿小からは、6年生児童26名と先生方保護者の皆様を併せて、35名の皆さんに遠く佐久市田口の我が田口小学校においでいただきました。

6年生代表の児童がであいの館にお出迎えに行きました。その2名の児童の案内により、学校に。学校では昇降口の近くに6年生全員が並び大歓迎。玄関で記念撮影をして校舎内へ。



ここまで6年生が全て進めてくれました。後で話を聞いたところ、6年生は出来るだけ子供たちに任せられるところは任せて進めるということで取り組んで来たようです。これもうれしいことの一つでした。なかなか時間もかかり、教師主導で進めた方が私たちからすると何か都合がいいのですが、それでは子供たちは受け身になります。（そういう時もあるのですが）

上の写真は、体育館での交流会の後、プレールームで昼食のお弁当を食べた様子です。よく見ると話しているのは、互いに自分の学校の仲間とだけで余り学校を越えて

での会話はありませんでした。気を遣いながら手探りで昼食の時間でした。中には、進んで話しかける児童も



両校にいて、社交的というか場の違いを気にしない子供がいるのだと思いました。これも一つの才能ではないでしょうか。これから生きる子供たちにとって、学校の違いを超えて親しくなれるという能力は、必要な能力になると考えながら見ていました。民族や国が違う相手とも親しきなる事が求められるのですから。体育館での集合写真は、お楽しみ会の後、撮影した写真です。いかがでしょう。少しは、混じっての様子がありません。黄色いTシャツは奥殿小の児童です。運動会の時に着て演技をしたものだと伺いました。

# 平の運動公園での交流の様子

まず、混合グループによるマレットゴルフを行いました。ここまで心配していた天気にも恵まれ、暑い中でのマレット大会になりました。一打、一打交互に打つやり方も良かったのか。互いに盛んに応援し合い、そのたびに一喜一憂する姿が見られるようになりました。このマレットゴルフが、子供たち同士の距離を一挙に縮めたと思いました。

その後、スタードームの隣にある野外調理場に移動。午前中の早い段階から準備をさせていただいていたバーベキューに向かいました。六年生の学級レクとして活動をしていただいたおかげで、本当に多くの皆様、特に六年生の保護者の方にお力添え



をいただけたことで、準備万端行うことが出来ました。準備会も何回も開きました。夜7時からというご家庭でも何かとお忙しい時間帯に何度も何度も検討を重ねていただき、執り行うことが出来ました。改めて、田口小学校の田口地区の団結力と様々なスキル特技をお持ちの方がたくさんおられることを確認させていただく機会となりました。バーベキューの最後のところで雨が降り出しました。後半には雷も鳴り始めていたのですが、子供たちはスタードームに



入り、星を直接見ることは叶いませんでしたが、お話を聞いたり、星の町白田の特徴の一端に触れることが出来たのではないかと思います。

## 27日は・・・蕃松院へ

蕃照院では、増田住職様にお出迎えをいただきました。雨模様でしたが、本堂の中で蕃松院と奥殿・大給氏との関わりについてのお話を伺いました。大給家の代々のご位牌が奉られていることを、私自身も交流の準備をし出してから知るといった有様で、不勉強を恥じました。何気なくあることがいかに大事であるのか、地域の良さを知るためには勉強をしなければならぬということを改めて思いました。見学を終えた後、奥殿の皆さんは、バスに乗り込みます。田口小の児童は、蕃松院の駐車場からの出口に並びお送りをしました。子供たちが精一杯手を振り、別れを惜しむ姿に、保護者の皆さんとともに私も感動を覚えておりました。子供たちの持つ柔軟性やこだわりの少ない姿は、年を重ね成長している私たち大人がどこかに置き去りにしてきたものを目の当たりにした気持ちでした。またどこかで、この両校の児童が親しく



交流する機会が訪れるといいなと思いました。交流会にお手伝いいただいた全ての皆様に改めて感謝いたします。

文責 田口小学校長 滝澤俊明

